

# 紫微斗数推命

入門編

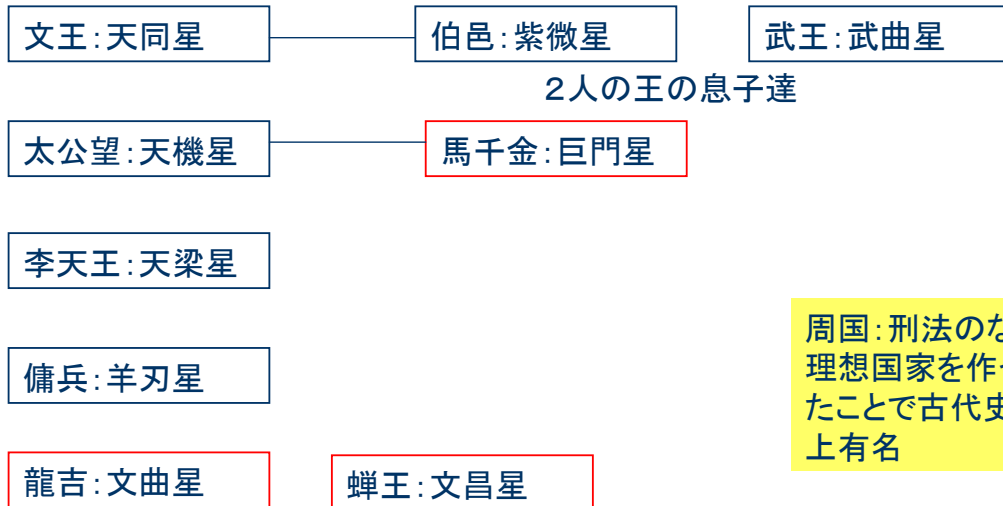
1

## 命盤の求め方には流派がある

- 紫微斗数推命は旧暦にもとづいて計算されます。  
この旧暦は、台湾と日本では異なります。  
市販の暦のなかには台湾暦をベースにしているものもあります。
- 命宮の求め方が、流派で異なります。  
(1) 生時支と干支暦の生月支(子丑寅・・・亥)から命宮を求める方法(節気)  
(2) 生時支と旧暦生月(1・2・・・12)から命宮を求める方法
- 命宮が異なると、12宮の配置のすべてがずれてきます。
- 鑑定の方法にも、紫微斗数派 と 紫薇斗数派では、異なります。

2

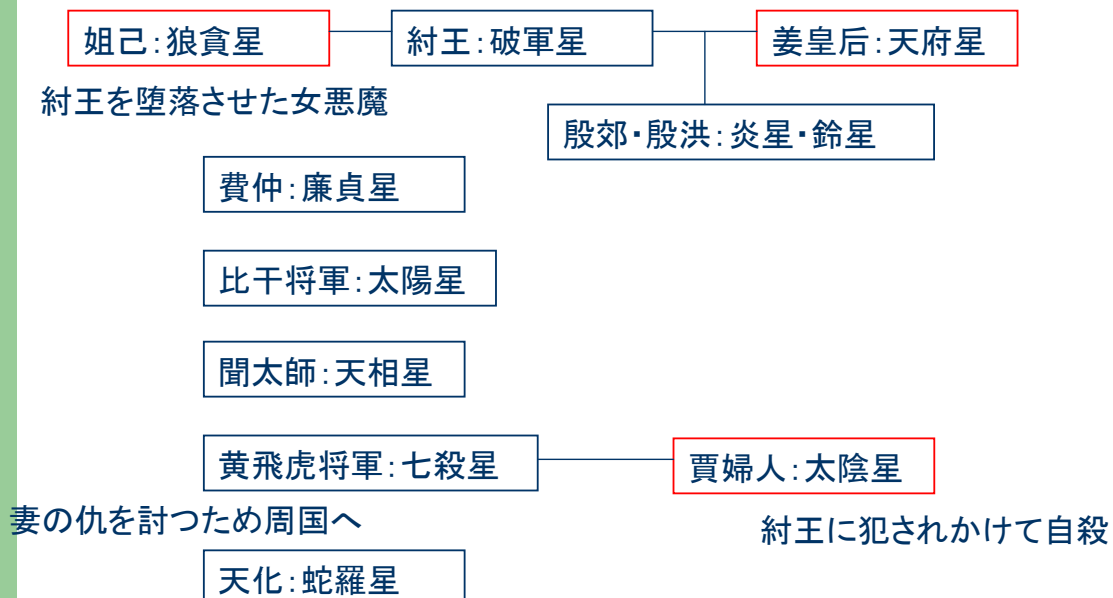
## 古代中国の封神演義に出てくる人物



周国:刑法のない理想国家を作ったことで古代史上有名

3

## 殷国(国を滅ぼした酒池肉林の王で有名)



4

## 人物を絵にして覚えましょう。紫微星



- 周という王国の「文王」には、「伯邑(はくゆう)」という美青年で優しい王子がいました。
- この「伯邑」は、心が大変清純で慈愛があつて民衆に尽くす立派な王子でした。
- 殷国の王である「紂王(ちゆうおう)」の妾に「妲己(だっき)」という淫乱の女性がいました。
- この「妲己」が「伯邑」を好きになって、夜みだらな格好をして誘惑しようとしたのです。
- 清純な「伯邑」はこのみだらな誘惑を激しく退け貞節を守ることができました。
- しかし、怒った「妲己」は「紂王」に「伯邑」から乱暴されたというウソを訴えました。
- その結果、「伯邑」は色ボケした「紂王」によって、殺されたのです。
- この「伯邑」が天界にのぼって、尊貴を司る「紫微星」となったのです。
- つまり、高貴で、人の上に立ち、孤高の存在だといえます。

5

## 人物を絵にして覚えましょう。天機星



- 殷国の王である「紂王」は、妾の「妲己」によって精を奪われ正気をなくしてました。
- 一方、周国の立派な「文王」には、「姜尚(きょうしょう)」という軍師がいました。
- 別名太公望とも言われ、召される前は、釣りばかりして貧乏していた仙人でした。
- 「姜尚」は、軍学・占道・易の奥伝を授けられていたので、文王によって召されたのでした。
- その妻は「馬千金」といって、貧乏で釣りばかりしている夫に対し不平不満を言っていました。
- 文王が亡くなってからも文王の次男である「武王」に仕え、殷国の「紂王」を滅ぼしたのです。
- この「姜尚」、つまり太公望が天界にのぼって、「天機星」となったのです。
- つまり、きわめて、頭脳的で、理論的ですが、経済力や実行力はないといえます。

6

## 人物を絵にして覚えましょう。太陽星



- 殷国の王である「紂王」は、妾の「妲己」によって精を奪われ正気をなくしてました。
- しかし「妲己」が現れる前は、「紂王」も良き王だったので、優れた重臣もたくさんいました。
- 「比干(ひかん)」という将軍もその1人で、墮落した「紂王」には常に心を痛めていました。
- そして「紂王」を諫めましたが、「妲己」にそそのかされた「紂王」は聞く耳を持ちませんでした。
- ついに、「比干」は自分の忠誠心を見せるため、自分の心臓を取りだし捧げたのです。
- たとえ悪王であっても自分の主君は絶対に裏切ることはできないという信念があったのです。
- この、「比干」が天界にのぼって、「太陽星」となったのです。
- つまり、腹のなかに、一点の影もない、正直で、公明正大な星といえます。

7

## 人物を絵にして覚えましょう。武曲星



- 周という王国の立派な「文王」には、「伯邑(はくゆう)」という美青年の王子がいました。
- この王子は、殷国の「紂王」によって殺されてしまって、紫薇星になったのです。
- その弟が、「武王」という王子で兄の仇である「紂王」を滅ぼしたのです。
- 武王は、良い軍師「姜尚」に恵まれ、紂王を討った後も良き王として周国を発展させました。
- この、「武王」が天界にのぼって、武勇と富を司る「武曲星」となったのです。
- つまり、行動と武勇に優れますが、その動機は正義であり、邪悪性はまったくない星と言えます。

8

## 人物を絵にして覚えましょう。天同星



- 周という王国には、慈愛と学問に優れた立派な「文王」がいました。
- 文王は、易学の大家でもあり占星術の基礎を作った人物とされています。
- 文王は、墮落した悪の王である「紂王」を討つという使命はまっとうできませんでした。
- しかし、その次男である「武王」がその使命をまっとうすることができました。
- この、「文王」が天界にのぼって、慈愛を司る「天同星」となったのです。
- つまり、学問と知恵があり、慈愛にあふれていますが、戦いには弱い星といえます。

## 人物を絵にして覚えましょう。廉貞星



- 殷国の王である「紂王」は、妾の「妲己」によって精を奪われ正気をなくしてました。
- しかし「妲己」が現れる前は、「紂王」も良き王だったので、優れた重臣もたくさんいました。
- そういった多くの心有る重臣達が次々に、「妲己」の陰謀で命を落としていきました。
- 腐敗が満ちた殷国でも、賄賂と陰謀に長けた悪臣達は自分の懐を肥やしていきました。
- その代表が、「費仲(ひちゅう)」という大妖臣なのです。
- この、「費仲」が天界にのぼって、歪曲と邪悪を司る「廉貞星」となったのです。
- つまり、談合のような組織の頂点に君臨し、利益を上手に配分するような星といえます。

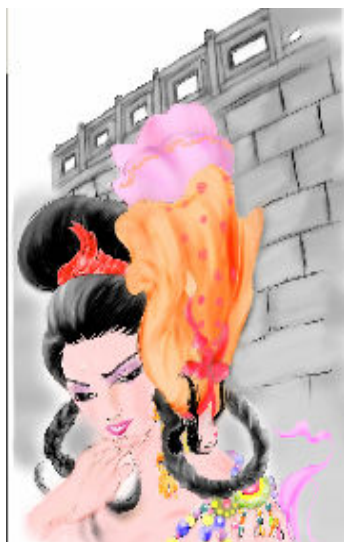
## 人物を絵にして覚えましょう。天府星



- 殷国の王である「紂王」は、妾の「妲己」によって精を奪われ正気をなくしてました。
- しかし「妲己」が現れる前は、「姜皇后」が第一婦人として良い政治をしていました。
- 「姜皇后」は学識が高く、優しく高潔で皇后と呼ぶにふさわしい才女でした。
- その皇后も、「妲己」の陰謀によって殺されてしまったのです。
- この、「姜皇后」が天界にのぼって、才能と富を司る「天府星」となったのです。
- つまり、心が優しく、才能にあふれていますが、戦いには、弱い星といえます。

11

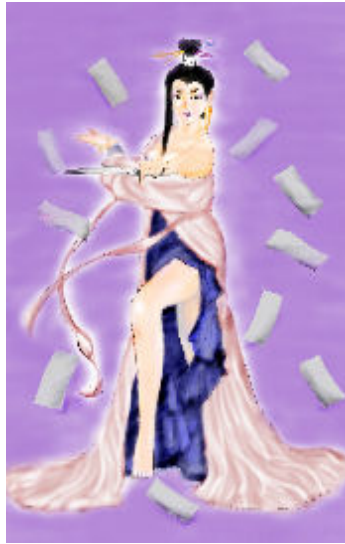
## 人物を絵にして覚えましょう。太陰星



- 殷国の王である「紂王」は、妾の「妲己」によって精を奪われ正気をなくしてました。
- しかし「妲己」が現れる前は、「紂王」も良き王だったので、優れた重臣もたくさんいました。
- 「黄飛虎(こうひこ)」という将軍もその1人で、墮落した「紂王」には常に心を痛めていました。
- その「黄飛虎」将軍の妻に、絶世の美女でこよなく夫を愛する賈(か)婦人がいました。
- しかし、この「賈婦人」に色欲の悪魔に取り付かれた「紂王」が襲い掛かったのです。
- 貞操を守って、「賈婦人」は楼上から飛び降り自殺したのです。
- この、「賈婦人」が天界にのぼって、純情と貞操を司る「太陰星」となったのです。
- つまり、清潔感にあふれ、正義に従順で、服従心のある星といえます。

12

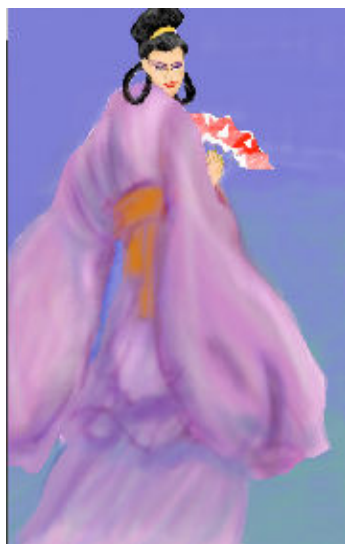
## 人物を絵にして覚えましょう。貪狼星



- もともとは良き殷国の王であった「紂王」を愛欲と色情で骨抜きにした女性が「妲己」です。
- この「妲己(だつき)」は、大変残忍で多くの人を殺し、その肉を食らったとされています。
- ”酒池肉林”という言葉が使われたのもこの「妲己」の行為が元になっています。
- 最終的には、周国の武王の軍団によって滅ぼされました。
- この、「妲己」が天界にのぼって、欲望と色情を司る「貪狼星」となったのです。
- つまり、どこまでも、欲望に忠実で、なんでもかんでも、手に入れたいと思う星といえます。

13

## 人物を絵にして覚えましょう。巨門星



- 周国の立派な「文王」には、「姜尚(きょうしょう)」という軍師がいました。
- 別名「太公望」とも言われ、召される前は、釣りばかりして貧乏していた仙人でした。
- その妻は「馬千金」といって、貧乏で釣りばかりしている夫に対し不満ばかり言っていました。
- この「馬千金」は、夫を無能扱いし結局は自分から離婚を申し立て去っていきました。
- しかしその夫が文王によって軍師に大出世したことを知って、悔しさのあまり憤死したのです。
- この、「馬千金」が天界にのぼって、弁舌と猜疑心を司る「巨門星」となったのです。
- つまり、細かい神経をもっていて、観察力が鋭く、すべてを疑ってかかる星といえます。

14

## 人物を絵にして覚えましょう。天相星



- 殷国の王である「紂王」は、妾の「妲己」によって精を奪われ正気をなくしてました。
- しかし「妲己」が現れる前は、「紂王」も良き王だったので、優れた重臣もたくさんいました。
- 「聞太子(ぶんたいし)」という将軍もその1人で、腐敗した殷国には常に心を痛めていました。
- 暴虐の主君の元でも、民衆の声を良く聞き、国のために死力を尽くして働きました。
- そして生涯、主君である「紂王」に仕え、最後まで周国の武王と戦って戦死してしまいました。
- この、「聞太子」が天界にのぼって、慈悲と奉仕を司る「天相星」となったのです。
- つまり、優しく、人の意見を良く聞きますが、戦いは得意ではない星といえます。

15

## 人物を絵にして覚えましょう。天梁星



- 殷国の王である「紂王」は、妾の「妲己」によって精を奪われ正気をなくしてました。
- 一方、周国の立派な「文王」には、「姜尚(きょうしょう)」という軍師がいました。
- その「姜尚」という軍師の元で、全軍の指揮をとっていたのが大將軍「李天王」なのです。
- 「李天王」は、殷国との戦いにおいて、連戦連勝の大將軍だったのです。
- この「李天王」が、天界にのぼって、天界の取締役を司る「天梁星」となったのです。
- つまり、人々を率いていくリーダーシップのあるで、思索的ではない星といえます。

16



## 人物を絵にして覚えましょう。七殺星



- 殷国の王である「紂王」は、妾の「妲己」によって精を奪われ正気をなくしてました。
- しかし「妲己」が現れる前は、「紂王」も良き王だったので、優れた重臣もたくさんいました。
- 「黄飛虎(こうひこ)」という将軍もその1人で、墮落した「紂王」には常に心を痛めていました。
- その「黄飛虎」将軍の妻に、絶世の美女でこよなく夫を愛する賈(か)婦人がいました。
- しかし、この「賈婦人」に色欲の悪魔に取り付かれた「紂王」が襲い掛かったのです。
- 「賈婦人」は、貞操を守って、楼上から飛び降り自殺したのです。
- 黄飛虎将軍は、激怒し、その後周国に従い、殷国の「紂王」を討ち復讐を遂げたのです。
- この「黄飛虎」将軍が天界にのぼって、怒りと権力を司る「七殺星」となったのです。
- つまり、非常に権力的で、自己の主張を押し通すためなら、手段を選ばない強い星といえます。

17

## 人物を絵にして覚えましょう。破軍星



- 殷国の王である「紂王」は、妾の「妲己」によって精を奪われ正気をなくしてました。
- そして毎日を、愛欲と物質欲に包まれた酒池肉林の生活をしてました。
- また、贅沢の限りを尽くし、民衆の声を無視した暴虐の政治を行っていました。
- ついには、周国によって滅ぼされ殷国を滅亡させたのがこの「紂王」なのです。
- この「紂王」が、天界にのぼって、破壊と消耗と破滅を司る「破軍星」となったのです。
- つまり、パワーと実行力は人並みはずれたものがありますが、欲望には弱い星といえます。

18

## 天（精神世界） ↑

左  
脳

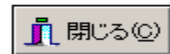


天機星	紫薇星 天同星	天府星 太陰星
天相星	太陽星 七殺星	武曲星 天梁星
巨門星 廉貞星	破軍星	貪狼星

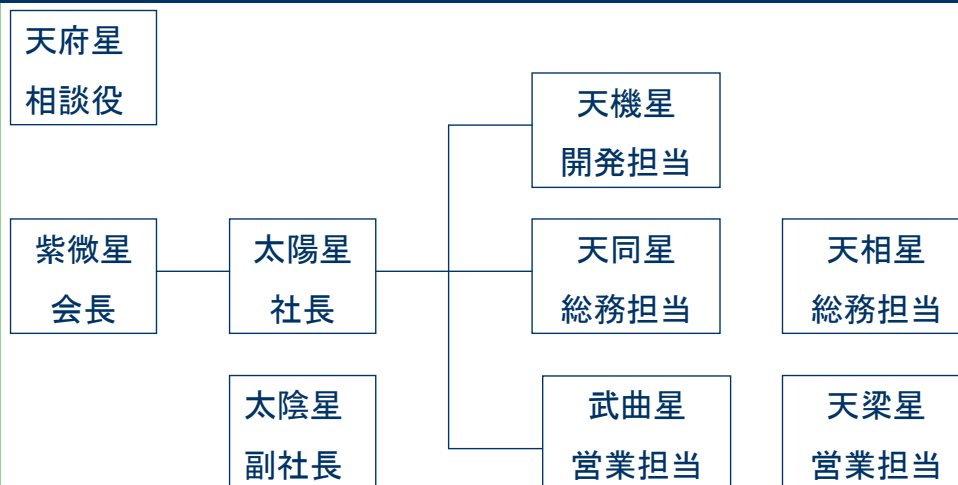
右  
脳



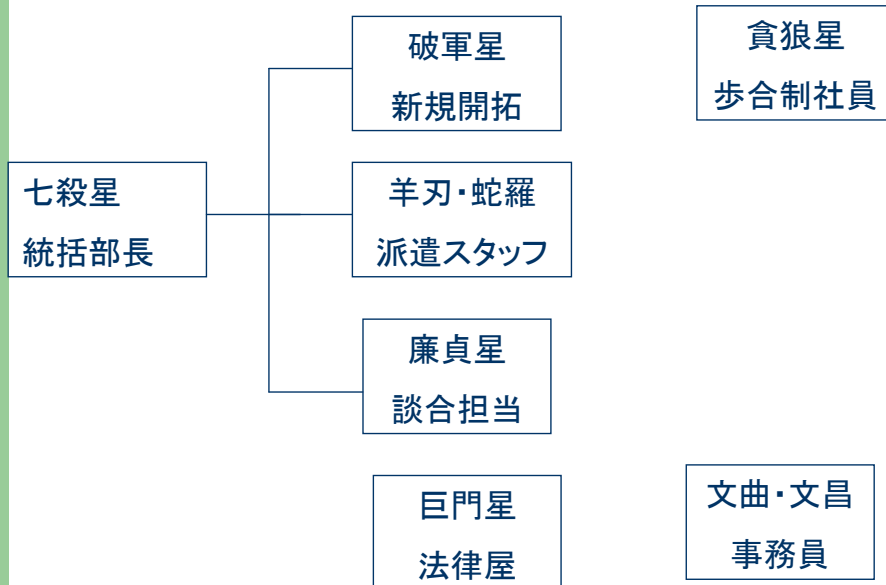
## 地（現実世界・五欲） ↓



## 主星 人事配置 経営幹部



## 主星 人事配置 現場



21

## その他の星(副星) 1

天存星	やさしい星。反面特徴がない星。
天魁星	ラッキー星。敵を作らない。目上から援助。
天鉞星	ラッキー星。敵を作らない。異性から援助。
左輔星	左大臣。知性面で補佐としての役割を果たす。
右弼星	右大臣。心情面で補佐としての役割を果たす。
駅馬星	移動・旅行・行動・忙しい星。

22

## その他の星 2

天空星	全てをむなしくする星。空虚。精神的。
地劫星	過失から全てを失う星。空虚。物質的。
天耗星	失いやすく、消耗しやすい星。
紅鸞星	色情。恋愛。派手。異性を惹きつける星。
天喜星	快樂と喜びの星。真面目さがある。
天姚星	色と恋に走る星。遊びと芸術面での才能。

## その他の星 3

化禄星	勤勉。金銭。備えをする星。
化権星	権力と権威の星。
化科星	学問と芸術の星。気品のある星。
化忌星	災難とトラブルに遭遇する星。短気。

## 星の輝き度 廟旺失陷

- ・輝きの最大は、廟で、旺→失→陷 となっていくます。これは、星が位置する十二支によって決定されます。
- ・たとえば、紫微星は、午で廟、未と丑で失となります。陷になることはありません。もともと吉星だからです。
- ・羊刃・蛇羅は、廟になることがなく、子・寅・卯などで陷となります。もともと凶星だからです。
- ★実際の鑑定では、この輝きをあまり、見過ぎると、鑑定を誤ってしまうことがあります。あくまでも、補佐的にみるべきです。たとえば、紫微星は、失になったからといって、高貴・品格といった特徴が、なくなることはありません。羊刃・蛇羅が旺になったからといって、残忍性がなくなることは絶対にありません。もっというなら、同じ宮に入る星を見るなら、廟旺失陷を無視してもかまいません。

25

## 12の宮の意味

何人も父母から生まれるから父母宮からスタートする

父母宮	自分が両親・目上・権力者をどのように思っているのか？ 反抗的なのか、服従的なのか？
命宮	自分が自身をどのように思っているのか？ 性格や行動の癖を示します。
兄弟宮	自分が同年代の友人・同僚・兄弟をどのように思っているのか？ 協調的かライバル的か？
夫妻宮	自分がどのような異性を好きになり結婚しやすいか？ 人生上のパートナーとしてどういう異性を選びやすいか？
男女宮	子女宮ともいう。自分が子女に対してどう思っているのか？ 無償の愛情を捧げる相手はどのようなタイプなのか？
財帛宮	自分で自分のお金の稼ぎ方をどのように思っているのか？ お金の使い方は荒いのか？ 儉約型なのか？ 浪費型なのか？

26

## 12の宮の意味

疾厄宮	自分の体質。かかりやすい病気。健康管理に対する考え方が、スポーツなのか？休息なのか？娯楽なのか？
遷移宮	自分が自分の行動力をどのように思っているか？考えを行動に移す場合の、移し方は荒っぽいのか？柔軟なのか？
奴僕宮	自分が自分の目下や部下のことをどのように思っているか？自分を支えてくれる人なのか？自分を利用する人なのか？
官禄宮	自分が自分のサービス能力をどのように思っているか？夫に対する服従の姿勢はどうか？従順なのか？反抗的なのか？
田宅宮	自分が自分の不動産運、資産形成、家庭づくりをどのように思っているか？社長の会社に対する思い入れはどうか？
福德宮	自分が自分の心のゆとりをどのように思っているか？どういふところに(異性を含む)人生の喜びを見いだしていくのか？

27

## どの宮を重視するか？

田宅	官禄	奴僕	遷移
福德			福德
父母			財帛
命宮	兄弟	夫妻	子女

- 生き方を診断する場合は、**命宮**(自分の資質)と**財帛宮**(お金の稼ぎ方)と**官禄宮**(サービス能力)の3つが最重要。
- キツイ星、荒々しい星が財帛宮に入っている場合は、**商売人向き**と判断する。お金は獲得し、投資するもの。
- 官禄宮にやさしい星が入っている場合は、**サラリーマン向き**と判断する。お金はサービスの結果、報酬として頂く。
- 結婚診断(人生上のパートナー)では、**夫妻宮**を重視する。
- 男女宮・**子女宮**は、結婚診断では使わない。(年下の恋人との関係では使える。)
- **身宮**はとくに、重視しなくても、実占上不便はない。
- **反対側の宮**をわざわざ見なくても、実占上不便はない。

28

## 鑑定の仕事(紫微斗数推命の特徴)

- 四柱推命は、**他人からの評価**を占います。十干系占術は、当人がどう思うかではなく、社会的な吉凶を決定するのに使いやすいという特徴。
- 紫微斗数推命は、**当人の気持ち**を占います。十二支系占術は、太陰暦で心理的内容を見る特徴で、社会的成敗はあまり言いません。
- 紫微斗数の星には、**五行**(紫微星が土行・天機星が木行)が割り振られていますが、これは、実際の鑑定では使いません。五行の相剋を紫微斗数推命に用いると、鑑定がおかしくなります。

## 鑑定の仕事(星 対 命宮)

- 例1) **命宮に天府星**がある場合  
自分は、自分のことを、天府星のように、優しいと思っています。と解釈します。
- 例2) **命宮に武曲星**がある場合  
自分は、自分のことを、武曲星のように、荒々しくたくましいと思っています。と解釈します。
- 例3) **命宮に紫微星**がある場合  
自分は、自分のことを、紫微星のように、高貴で人の上に立つ器と思っています。と解釈します。

## 鑑定の仕事(星 対 財帛宮)

### 例1) 財帛宮に天府星がある場合

自分は、自分のお金の稼ぎ方を、天府星のように、優しく、無理なく給与を頂くタイプと思っています。と解釈します。

### 例2) 財帛宮に武曲星がある場合

自分は、自分のことを、武曲星のように、荒々しく、たくましく、商売をしていき、利益を追求できるタイプだと思っています。と解釈します。

### 例3) 財帛宮に紫微星がある場合

自分は、自分のことを、紫微星のように、高貴で人の上に立つ器で、ガツガツと利益を追いかけていくような仕事、または、汗水を流すような仕事は向いていないと思っています。と解釈します。

## 鑑定の仕事(星 対 官禄宮)

### 例1) 官禄宮に天府星がある場合

自分は、自分の服務能力を、天府星のように、上司に対し優しく、服従し、組織で働くことが向いていると思っています。と解釈します。

### 例2) 官禄宮に武曲星がある場合

自分は、自分の服務能力を、武曲星のように、上司に対しても荒々しく、遠慮なく、対応し、自分の意志を押し通していくので、あまり組織向きではないと思っています。と解釈します。

### 例3) 官禄宮に紫微星がある場合

自分は、自分の服務能力を、紫微星のように、高貴で人の上に立つ器ですから、上司から叱られたり、下働きするのはあまり好きではないと思っています。と解釈します。



## あるホテルの経営者の事例

命宮:太陽 財帛:文昌 官禄:巨門

長所:他人を見返してやりたいというパワーと行動力。事業の拡大欲。憎めない人柄。

欠点:部下を信用しない。感情で事業の方向性が左右される。利益の追求の仕方が甘い。

戊丁丙甲  
申巳寅午

田宅	官禄:巨門	奴僕	遷移
福德			福德
父母			財帛:文昌
命宮:太陽	兄弟	夫妻	子女

33

## ある証券会社の経営者の事例

命宮:文曲・文昌 財帛:天機 官禄:天同

長所:社長を弟に早めに譲り、会長として交渉ごとだけに専念。地元の名士達との交流に活躍。

短所:頭でっかちになりやすく、利益追求という面では、合理性に欠ける。

乙戊庚壬  
卯辰戌申

田宅	官禄:天同	奴僕	遷移
福德			福德
父母			財帛:天機
命宮:文曲	兄弟	夫妻	子女

34

## ある整体業を目指す男性

命宮:武曲 財帛:廉貞 官禄:紫微

長所:組織に対する忠誠心はある。先輩から誘われて、転職に成功するが長時間労働に不満。

欠点:現在、整体業を目指しているが、その理由が、サラリーマンが帰宅する午後4時から午後8時だけ営業して土日は休むことができるから。

甲庚戊丁  
申戌申未

田宅	官禄:紫微	奴僕	遷移
福德			福德
父母			財帛:廉貞
命宮:武曲	兄弟	夫妻	子女

35

## 健康食品を販売する女性経営者

命宮:天同 財帛:文曲 官禄:天機

長所:自宅で健康セミナーを1年に20回開催。固定の顧客を増やすことで成功。

短所:部下やスタッフを育てることができない。

丙癸庚庚  
辰巳病子

田宅	官禄:天機	奴僕	遷移
福德			福德
父母			財帛:文曲
命宮:天同	兄弟	夫妻	子女

36

## 宗教団体を作ろうとした霊的女性

- 命宮:武曲 財帛:廉貞 官禄:紫微

長所:上場企業の顧問だったころが華

短所:お金のために1万円のを100万円で販売しようとして失敗。

壬丙甲乙  
辰子申酉

田宅	官禄:紫微	奴僕	遷移
福德			福德
父母			財帛:廉貞
命宮:武曲	兄弟	夫妻	子女

37

## 合理的スーパー経営者

- 命宮:貪狼 財帛:破軍 官禄:七殺

長所:日本で最初にディスカウントスーパーを経営した男性。利益追求の姿勢は、すざまじい。

短所:大学を卒業後、大手百貨店に勤務したが上司と対立し、1年もたなかった。米国に単身渡って、スーパーの経営を学んだ。

丁甲癸戊  
卯戌亥辰

田宅	官禄:七殺	奴僕	遷移
福德			福德
父母			財帛:破軍
命宮:貪狼	兄弟	夫妻	子女

38

## 占ト(せんぼく)で使ってみる方法

- ある出来事が発生する時間の、命盤を作成する。
- その命盤の特徴に従って、行動の仕方、方位の決定などをする。
- 例えば、下のような日時で商談があった場合は、とにかく、利益を徹底して追及する方針で商談には望みます。そして、理知的に話し合うのではなく、一方的に、やぶれかぶれで、話をすすめるのが良いのです。

田宅	官禄:七殺	奴僕	遷移
福德			福德
父母			財帛:破軍
命宮:貪狼	兄弟	夫妻	子女

## まとめ

- 四柱推命は、**他人からの評価**。
- 紫微斗数推命は、**自分が下す内面の評価**。  
自分のなかで、どこが、特徴なのかを知ることができます。
- 両方あわせてみると、精度が高くなります。
- 両方の結果が、違っている場合は、**特徴**がもし、四柱推命に出ているのであれば、四柱推命を優先すべきです。  
**特徴**がもし、紫微斗数推命に出ているのであれば、紫微斗数推命を優先すべきです。
- この優先順位を決定できるかどうかで、総合鑑定ができるかどうか左右されます。細かい部分に、とらわれずに、**本人の特徴がどこに、際だって出ているのか？そのポイントを探ることが、もっとも、実占的な鑑定となります。**